



2020年11月5日

各 位

会社名 株式会社 バナーズ  
 代表者 代表取締役 小林 由佳  
 (コード番号 3011 東証第二部)  
 問合せ先 執行役員 大内 修  
 電 話 (048)523-2018

通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月6日に開示しました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,447	32	27	4	0.28
今回発表予想（B）	3,483	16	2	△25	△1.50
増減額（B－A）	36	△16	△24	△29	－
増減率（％）	1.0	△49.4	△89.6	－	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	3,953	△40	△50	△243	△14.51

2. 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	345	112	101	6.05
今回発表予想（B）	347	109	96	5.78
増減額（B－A）	1	△2	△4	－
増減率（％）	0.4	△2.4	△4.5	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	348	△76	△257	△15.37

### 3. 修正の理由

2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)においては、このところ持ち直しの動きがみられるものの新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等、先行きは今なお不安定な状況が続いております。

このような状況において、自動車販売事業では、来店客数・商談数ともに徐々に回復し始めているところではありますが、新車販売分野が大変苦戦を強いられ、前年と比較して販売台数が半減レベルにまで落ち込んでおります。

また、楽器販売事業では、ウイルス感染対策を講じて完成リードの試奏販売をはじめとする各種体制を整えたところ、来店客数は徐々に回復してまいりましたが、今後の回復度合いは依然として不透明であります。

一方、不動産利用事業では、一部テナントからの賃料の減額要請により、若干の減収の懸念がありますが、大きな影響が発生するとは想定しておりません。

以上の状況を踏まえ、損益面につきまして前回発表予想から下方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の第二波による再度の緊急事態宣言等の大規模な社会的制限について想定・反映はしておりません。今後の感染拡大、収束時期や収束後の市場・消費動向には相当程度の不確実性があり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性もあります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響をお知らせいたします。

なお、現時点において、2020年5月14日に公表いたしました期末配当予想(1株当たり2円00銭)の変更はございません。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性もあります。

以 上